

浜松町駅の小便小僧が日本水難救済会の「出勤服」姿に衣替え

平成24年7月26日(木)、第三管区海上保安本部救難課、東京海上保安部及び手芸ボランティアグループ「あじさい」の協力により、JR浜松町駅の山手線外回りと京浜東北線南行きが発着する3・4番線ホームに立つ「小便小僧」が日本水難救済会の「出勤服」姿で8月25日までの1ヶ月間「青い羽根募金」のPRに一役かってくれることになりました。

この像は昭和27年10月14日、鉄道開通80周年を記念し、地元の「小林光」歯科医院長から寄贈されたもので、今なお少年のままですが、今年で還暦を迎えます。

東京都港区の手芸ボランティアグループ「あじさい」の皆様(写真中央の3名)は、昭和61年11月から季節にふさわしい衣装の制作と衣替えを行っており、浜松町駅の名物となっていることから、今回の衣替えには、地元在住のオランダの方を含む「小便小僧」ファンが見学に来られました。

